

先週のマーケット動向(4月28日~5月2日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,438.5	1,442.8	1,405.3	1,405.3	▲31.2
JPY/KRW	10.0038	10.1291	9.6847	9.6817	▲0.316
KOSPI	2,551.23	2,571.41	2,540.57	2,559.79	+13.49

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週初は1,438.5ウォンでオープン。米関税を巡り各国との貿易交渉が進展しているとの期待感やドルの信認低下への懸念が後退する中でドルが買われ、底堅い推移。また、李BOK総裁からは今年の韓国の成長率予測を引き下げる可能性があり、政策金利は低下傾向にあるとの発言が見られ、5月BOK会合での利下げ期待が高まる中、ウォンも売り圧力が優勢だった。しかし、月末にかけて実需勢によるウォン売りフローも相応にあり、ドル/ウォンの上値は1,440ウォン台前半で押さえられた。29日に発表された複数の米経済指標が軟調な内容だったことで、翌30日にドル売りが拡大し、1,420ウォン台前半まで下落。韓国祝日を挟み5月2日には再び貿易交渉の進展期待や韓国の政情不安からウォン安が進行するも、その後、米大手ハイテク企業が台湾大手半導体企業の米工場からの調達を強化するとの報道に、台湾ドルが急騰。それにつられる形で急速にウォン高が進み、前週末比▲31.2ウォンの1,405.3ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォンは上値重い推移か。連休中、台湾ドル高が継続し、NDF市場でウォン買いが拡大した。週初のドル/ウォンは1,370ウォン台でのオープンが想定される。戒厳令後初めて1,400ウォンを下回る水準に輸入勢のドル買い意欲が強まることが予想され、下値拡大余地は限定的か。また、7日のFOMCでは政策金利の維持が予想されるも、トランプ大統領からの利下げ圧力に対し、パウエル議長がどのような発信を行うか注目したい。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1360 ~ 1390	9.50 ~ 9.80	141.0 ~ 144.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 5日(月) 米 4月 サービス業PMI 確報値
米 4月 ISM非製造業景況指数
- 6日(火) 欧 4月 サービス業PMI 確報値
中 4月 総合PMI
中 4月 サービス業PMI
- 7日(水) 米 FOMC 政策金利発表
- 8日(木) 米 5月 失業保険新規申請者数
- 9日(金) 中 4月 貿易収支
韓 3月 国際収支

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。